# 拒否者総会ひらく

## 闘いへの意志統一はかる

拒否者総会は十四日午後一時半から太田議長、原委員長、各単産委員長らを迎え市民会館でひらかれた。会議は拒否者とその家族から疑問や要求、意見が総評、炭労、三池労組の幹部に出され、こんごの条件闘争に対する意思統一をはかった。

### 指名解雇あくまで認めず

太田総評議長、原炭労委員長をはじめとする全逓、鉄鋼、自治労、私鉄総連など大単産の委員長、書記長の来山とともに、十四日午後一時半から拒否者会議が市民会館でひらかれた。

今日まで闘いの先頭に立つて闘つてきた千二百名の組合員とその家族を中心に、傍聴者をふくめ会場は文字通りギツシリとつまつた。

会議は太田議長、原委員長、大単産委員長、書記長それに炭労中執十三社指導委の出席を見て、拒否者が現在もつている疑問や不安、また総評、炭労、三池の執行部に対する意見や要望がつぎつぎと出された。

炭労大会決定に対する疑問は、さきの中央委員会で延々十六時間におよぶ討議をしたとはいえ、今次闘争の最高指導責任者を前にしていまだに釈然としない問題について疑問がつぎつぎと行なわれたが矢張り、焦点はこんご闘いをどう進めていくか、条件闘争はどのように組まれていくか、またさし迫つた拒否者を中心とするいろいろな問題が中心となつた。

### 完全就職こそ今後の闘いのカギ

「完全就職はぜひとも勝とつて貰いたい、そのことがこんご十二万人体制の対決にもなるし、またその成果がこんごの職場闘争に大きく影響するであろう。実力行使をもつても闘う意志があるのか」

「果して三鉱連が立上る意志があるのか」

「私は家族八人暮しだ。綱の止めるのも聞かず、組織のため今日まで闘つてきた。家族を心配させないためにも完全就職は闘いとつて貰いたい」

「会社は千二百名がすべて職場活動家だといつている。そのためにもすべての人が法廷闘争をする確利がある」

「炭労・総評・社会党がみんなであつせん案をのめのめと大会ではいつている。もし、あの時ハネ返していたら八割は闘つたろう。それ故にこそ指導部を追及したい」

「大会では久保さんの問題をどうして取上げなかつたのだ。久保さんを殺したのは会社だ、会社を追及し交渉せよ」

「炭労大会に総評が譲歩を打出したのは軽率ではなかつたか」

「ホツパーで勝負するという戦術に間違いはなかつたのか。また白紙委任は正しかつたのか。会社がズルズルと回答を引延ばしたとき何らかの行動をすべきではなかつたのではないか」

「拒否して闘うということは感情でいつていると言われているが、それでは四月大会では闘うことを感情で決定されたのか」

「職場闘争のあり方は次期大会で示すといわれているが、職場闘争をやつた人の身分は完全に保障する旨を明確に打出してもらいたい」

### 闘わず就職考えられぬ

「病人に代つて発言したい。失業保険がもらえるかどうか。また老齢者は入替採用を楽しみに闘つてきた人もいる。本人が就職不能のときは子弟でもよいか」

「私は大正六年に臨時で入り、九年に坑外電気工となり、いらい四十数年間働いてきた。会社のあくらつさは身にしみてうけとつてきた者であり、入替採用の希望は未だにすてていない。責任をもつて子弟の就職に全力をつくしてもらいたい」

「条件闘争に対する具体的な方針が今だに出されていない、早急に出すべきだ」

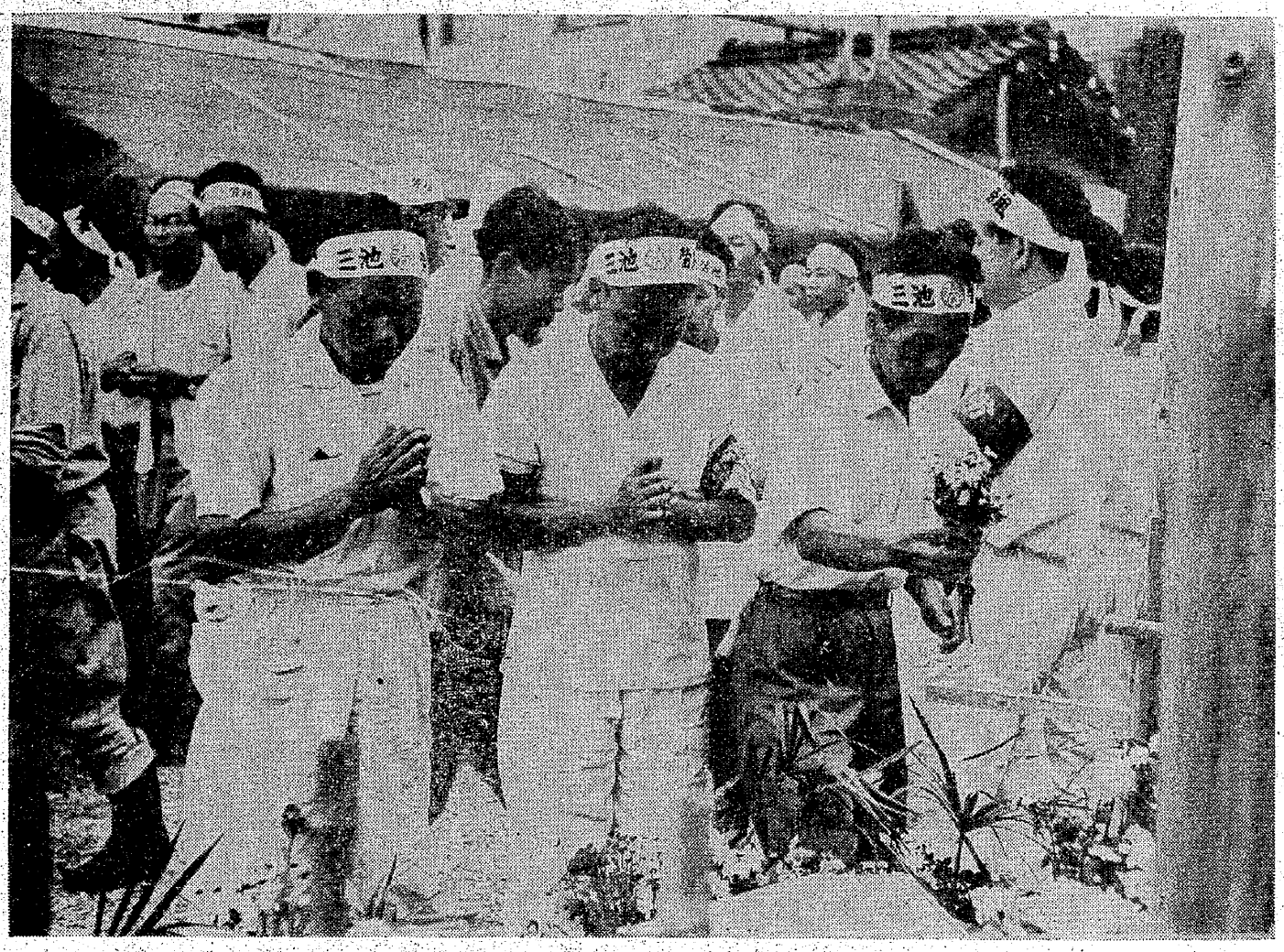
「生産再開で会社は第二組合も入れるといつているが、組合では積極的に抗議をおこせ」

「完全就職がどうしてもできなかつた場合は、組合で事業でもおこして吸収するのか」

「指導部の話を聞いていると、就職がスラスラといくような幻影すら覚える。だが闘いをぬきにしてはどうしても考えられない」

などなど、会議は午後七時すぎまでつづけられ、質問に対して太田議長、原委員長、古賀事務局長、灰原書記長から詳細に答弁がなされた。

指名解雇をあくまで認めず千二百名を守つて闘う決意は、さらに高められ、執行部ではただちにこの日出された意見を整理して要求項目をまとめ、政府、中労委、会社に交渉することとなつた。



こんごの闘いを久保さんの霊前に誓う（デモ隊を代表して誓う組合員）

# 闘いの決意強化

## 最高指導部を迎え行動隊総会

総評太田議長、炭労原委員長来山とともに行動隊では十四日午前十時から三川講堂で七百名の隊員が集つて行動隊総会をひらいた。

とくに指導部の〃行動隊の若い人たちと十分話合つて、こんごの闘いの理解と決意を固めて貰うために〃という要望のもとに、直ちに討論に入つた。

この日の出席者は太田議長、原委員長の他に日炭、大正、吉河、杵島、住友、雄別各労組の指導者と組合から灰原書記長、隊員七百名のほかに百名の組合員も熱心に耳を傾けていた。

「敵の正体がバクロされたのにもかかわらず中闘は愛諾の線を出した。このことは下部はやるが指導部はやれないという印象を受けた」

「条件闘争をやる力があつたらどうして闘かわなかつたのか」

「太田議長の新聞談話はどういう意味か、それではこんどどうすればよいのか」

「十一万人体制との闘いには全力をあげねばならない。具体的な態勢は何かあるのか」

「企業連の弱さを今になつていわれているが当初から判つていたと思う。それならどうして、その観点に立つて指導をやらなかつたか」

「政府が完全就労を約束したということで楽観してはいないか。また条件闘争についても何らの方針も打出していない」

「指名解雇は不当だといつて闘つてきた。それなら全員提訴しなければ指名解雇を認めたことになる全国の仲間をペテンにかけることになるのではないか」

「千二百名を闘いのスクラムに組んでいくことこそ、闘いの成果がある。総評・炭労のこんどの闘いが大事だ、どういう方針か」

「政策要請をさせた成果は高く評価するが、安保打破の力と結合させなければ若干の欠陥を招くと思う」

など、活発な質疑がつぎつぎとくりひろげられ、これに対して太田原、灰原の三氏から、厳しい答弁がのべられ「去るも地獄残るも地獄といつてわれわれは闘つてきたが、ここで去る者も残る者も地獄ではないということにするのが、条件闘争である」と説明され、討論を通じてこんどの組織強化のための理解と決意を固めることができた。

さいごに原委員長は「悲しみも困難もみなさんと一緒にして十一万人体制と対決のためがんばります炭労二十万は一体となつてみなさんと行動をともにすることを約束します」と強い決意をもつてのべた。

なお行動隊では、総会終了後、同日朝、那須委員（営繕）ら五名の不当逮捕に抗議して、警察に〃抗議デモ〃をかけた。

# 労働者階級の理論を学ばう

## 学習活動者全国集会の集約から

「学習活動者全国集会」が九月三日から三日間東京で開かれた。主催の労働者教育協会（会長柳田謙十郎氏）では開初の集会だけに参加者を少人数とふんでいたが、蓋をあけてみたら予想の二倍を上回る約八百人（女性は約二割）が参加するという盛会。これは職場に高まつている学習活動をそつくり反映したものとみられるが、三日間の集会で話しあわれた学習活動の集約のあらましをお伝えする。

▽　資本家の思想攻撃はどのように進んでいるか―「マルクス・レーニン主義は古くさくなつた」「国民所得を倍にし全国民を中産階級にする」「企業が繁栄すれば労働者の生活はよくなる」などの思想攻撃がさまざまな手段でおこなわれている。学習活動は、この資本家階級の思想攻撃との闘いである。そのため労働者が階級的思想をかくとくしようとするとき、必らず加えられるのはアカ攻撃である。この攻撃のためにつぶれたり停滞したりしたサークルは少なくない。

しかしアカ攻撃ときつぱり闘つたところは着実に前進し、〃職場ではもうアカということばがなくなつた〃（国労広島ほか）。学習活動家はアカと攻撃されることをおそれたり、弁解することをせず、大衆の利益を守つて先頭にたつて闘うとき、大衆は「アカ攻撃」の本質を知り、ともに学習し闘うのである。

▽　学習サークルと労働組合との関係―労働組合が積極的に学習サークルを援助し育成しているところもしだいに増えてきた。しかし、まだそうでないところのほうが多い。これを解決していく道は学習サークルの活動家が、常に闘いに積極的に参加し実践をおし進めていくことである。口先の幹部批判やセクト的誤りをくりかえしてはならない、と戒しめあつた。多くの参加者から、おしやべりのサロンであつたり、本読み会ではだめだ、正しい理論をいかに実践するかの努力が重要であること、ことに安保闘争のなかで多くの学習サークルが質的にたかまつたことが報告された。

▽　いま何をとくに学ぶことがたいせつか―安保闘争を通じて、国家の本質、帝国主義の本質、アメリカ帝国主義と日本独占資本との関連を明らかにしたいという要求が多い。また身近かな職場の問題のなかに本質的なものを見出していこうという意見もある。それとともにいまもつとも学びとらねばならないものは、労働運動の理論、統一と団結の理論である。こうして労働者階級の解放の理論を学び、それを実践し、自分自身を労働階級の思想に変革することーが強調された。（I）

# 激電

あつせん案受諾を心から残念に思う、苦悩の中からさらに闘う力を培われたい。われらもともに抵抗することを期す。　全電通香川県支部委員会

あつせん案拒否全労働者の先頭に立て　宗像守る会

あつせん案拒否で闘かえ、われら支援惜しまず　東大物理三池を守る会

神戸税関で三池を守る会発足したともに頑張ろう　神戸税関三池を守る会

私たちは三池の仲間を迎え第二回鹿児島の歌声をひらき、三池・安保の闘いの栄時らしさを再確認し意気上る闘いの中で三池を守り、安保破棄の闘いをさらに進めようと誓い合つた。ガツチリ組んだスクラムで勝利の日まで前進しよう　鹿児島のうたごえ

二七大会決定残念！一、二〇〇名を守り組織を守る大会に全力をあげともに闘う　鹿炭労西沖トクホン学習会西沖三池を守る会

資本家のヒモつき藤林あつせん案をやむなくのんだ鹿労組の苦衷を察す。こんど条件闘争にさらに結集し、闘かわれんことを祈る。われらさいごまで支援の手をゆるめず。　全鉱ミコバ夕第九次オルグ団

弾圧に屈せず統一と団結で一二〇〇名の同志を最後まで守ろう　イクノ三池守る会

長期に亘る闘いに対し心からの敬意を表す。一二〇〇名の同志を守り条件の完全獲得と組織の統一と団結のため、ねばり強く闘かい抜かれんことを祈る。われらさらに支援惜しまず。　全労飯塚労組

固く結んで前進してください。　参議　矢島　三義

一・二〇〇名の仲間をつつむ全労働者の連帯闘争をひろめよう。三池のみなさんに心から激励を送ります。がんばつてください。　岡山県　ヤナハラ労組

炭労大会の決定に従つて固い団結のもと統一を守つて闘う鹿労組にふかい敬意を表す。われらも十一万首切り反対の闘いに毅然たる決意をもつて立上ることを決定したともに闘かおう。　方城労組第九回闘争委員会

血と汗と闘魂で闘いぬいた三池の同志に敬意を表し、ますます団結を固めて炭労の組織を守り、前向きで闘いすすむことを誓う。　三菱高島労組

あつせん案受諾に気を落さず頑張ろう。最後まで支援します。　全電通東京電信

最後まで組織を守りともに闘おう　杵島労組北片地域職場分会

以上の電報は三池の態度決定後に送られたものです。